

令和4年度

歳入歳出決算補充説明書

防災対策部

防災対策部の所管する令和4年度歳入歳出決算につきまして、お手元の「令和4年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」によりご説明申し上げます。

令和4年度の防災対策部関係の歳入につきましては、予算現額 17 億 7,897 万円に対し、調定額、収入済額とも 16 億 8,964 万 2,940 円となっております。

それでは、歳入決算の詳細につきまして順次ご説明申し上げます。

まず、46 頁、第 8 款「使用料及び手数料」第 1 項「使用料」第 1 目「総務使用料」のうち当部関係は、予算現額 332 万 5,000 円に対し、調定額、収入済額とも 355 万 882 円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
土地使用料	724,667
建物使用料	2,826,215
合 計	3,550,882

また、50 頁、第 2 項「手数料」第 1 目「総務手数料」のうち当部関係は、予算現額 8,815 万 6,000 円に対し、調定額、収入済額とも 8,594 万 9,450 円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
消防法関係手数料	42,897,400
ガス関係手数料	30,483,450
火薬関係手数料	2,177,600
電気関係手数料	10,391,000
合 計	85,949,450

従いまして、第 8 款「使用料及び手数料」の合計は、予算現額 9,148 万 1,000 円に対し、調定額、収入済額とも 8,950 万 332 円となっております。

次に、70 頁、第 9 款「国庫支出金」第 1 項「国庫負担金」第 2 目「総務費負担金」のうち当部関係は、71 頁の「国民保護訓練費負担金」で、予算現額 83 万円に対し、調定額、収入済額とも 26 万 59 円となっております。

また、78 頁、第 2 項「国庫補助金」第 1 目「総務費補助金」のうち当部関係は、予算現額 1,167 万 1 千円に対し、調定額、収入済額とも 1,262 万 6,563 円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
社会資本整備総合交付金	255,000
地方創生推進交付金	5,534,070
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	966,693
消防庁補助金	5,870,800
合 計	12,626,563

また、80 頁、第 2 目「民生費補助金」のうち当部関係は、85 頁の「地方創生推進交付金」で、予算現額、調定額、収入済額とも 83 万 9 千円となっております。

また、84 頁、第 3 目「衛生費補助金」のうち当部関係は、91 頁の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の一部で、予算現額 96 万 8 千円に対し、調定額、収入済額とも 0 円となっております。

従いまして、第 9 款「国庫支出金」の合計は、予算現額 1,430 万 8,000 円に対し、調定額、収入済額とも 1,372 万 5,622 円となっております。

次に、120 頁、第 10 款「財産収入」第 1 項「財産運用収入」第 2 目「利子及び配当金」のうち当部関係は、121 頁の「利子収入」の一部で、予算現額 4 万 7,000 円に対し、調定額、収入済額とも 1 万 9,480 円となっております。

次に、124 頁、第 11 款「寄附金」第 1 項「寄附金」第 2 目「総務費寄附金」のうち当部関係は、125 頁の「防災対策寄附金」で、予算現額、調定額、収入済額とも 100 万円となっております。

次に、128 頁、第 12 款「繰入金」第 2 項「基金繰入金」第 1 目「基金繰入金」のうち当部関係は、予算現額 1,700 万円に対し、調定額、収入済額とも 1,667 万 6,532 円となっております。

次に、142 頁、第 14 款「諸収入」第 6 項「収益事業収入」第 1 目「宝くじ収入」のうち当部関係は、予算現額、調定額、収入済額とも 3 億 8,192 万 5,000 円となっております。

また、同頁、第 8 項「雑入」第 2 目「雑入」のうち当部関係は、予算現額 5,320 万 9,000 円に対し、調定額、収入済額とも 4,679 万 5,974 円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
雑入	46,685,574
広告収入	110,400
合 計	46,795,974

従いまして、第 14 款「諸収入」の合計は、予算現額 4 億 3,513 万 4,000 円に対し、調定額、収入済額とも 4 億 2,872 万 974 円となっております。

次に、150 頁、第 15 款「県債」第 1 項「県債」第 1 目「総務債」のうち当部関係は、予算現額 12 億 2,000 万円に対し、調定額、収入済額とも 11 億 4,000 万円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
防災行政無線整備事業費充当	988,000,000
防災ヘリコプター運航管理費充当	88,000,000
広域防災拠点維持管理費充当	2,000,000
地域防災力向上支援事業費充当	17,000,000
防災対策総務調整費充当	8,000,000
学校運営管理費充当	37,000,000
合 計	1,140,000,000

なお、予算現額と収入済額との差額 8,000 万円は、「広域防災拠点維持管理費」等の翌年度への繰越によるものです。

以上、歳入決算の概要についてご説明申し上げました。引き続き、歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

令和4年度の防災対策部関係の歳出につきましては、予算現額 33 億 4,715 万 3,000 円に対し、支出済額 32 億 1,976 万 2,082 円で、翌年度繰越額 8,998 万 1,200 円、不用額 3,740 万 9,718 円となっております。

それでは、歳出決算の詳細につきまして順次ご説明申し上げます。

まず、第2款「総務費」のうち当部関係は、198 頁、第2項「企画費」第5目「危機管理費」であり、予算現額 96 万 7,000 円に対し、支出済額 91 万 8,180 円、不用額 4 万 8,820 円となっております。

これは、県政を取り巻くさまざまなリスクに対応できる職員の育成に係る研修等を行う「危機管理推進事業費」に要した経費です。

次に、236 頁、第8項「防災費」につきましては、予算現額 33 億 4,618 万 6,000 円に対し、支出済額 32 億 1,884 万 3,902 円、翌年度繰越額 8,998 万 1,200 円、不用額 3,736 万 898 円となっております。

まず、同頁、第1目「防災総務費」は、予算現額 30 億 275 万 1,000 円に対し、支出済額 29 億 1,612 万 1,368 円、翌年度繰越額 6,017 万 6,000 円、不用額 2,645 万 3,632 円となっております。

支出済額の主な内容は、職員の人件費である「給与費」、防災通信ネットワークの再整備にかかる「防災行政無線整備事業費」、防災ヘリコプターの運航にかかる「防災ヘリコプター運航管理費」、など、防災対策の推進にかかる各種事業に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額 (円)
給与費	639,816,926
防災対策費	172,167,800
地震対策費	132,504,452
防災行政無線等管理費	166,495,040
防災行政無線整備事業費	1,305,181,444
防災ヘリコプター運航管理費	478,918,588
その他 (防災総務費、国民保護費)	21,037,118
合計	2,916,121,368

また、翌年度繰越額は、「防災対策費」の6,017万6,000円であり、これは、伊勢志摩広域防災拠点壁面改修工事において、追加の構造補強が必要となり、年度内での工事完了が見込めなくなったことから繰り越したものです。

なお、不用額の主なものは「地震対策費」の事業実績及び補助金額の減などです。

次に、238頁、第2目「消防指導費」は、予算現額3億678万2,000円に対し、支出済額2億6,994万8,194円、翌年度繰越額2,980万5,200円、不用額702万8,606円となっております。

支出済額の主な内容は、危険物取扱者等の保安講習、免状作成にかかる「予防費」、消防学校の運営管理と施設整備にかかる「消防学校費」など、県内の消防体制の確立にかかる事業に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額（円）
消防費	25,967,206
予防費	36,477,905
消防学校費	207,503,083
合計	269,948,194

また、翌年度繰越額は、「消防学校費」の2,980万5,200円であり、これは、消防学校の施設設備更新工事において、感染症等の影響により部品の供給に想定よりも時間を要し、年度内での工事完了が見込めなくなったことから繰り越したものです。

なお、不用額の主なものは、「消防学校費」の実績減などです。

次に、240 頁、第 3 目「銃砲火薬ガス等取締費」は、予算現額 2,048 万 6,000 円に対し、支出済額 1,666 万 2,146 円、不用額 382 万 3,854 円となっています。

これは、高圧ガス製造販売施設等の設置許可及び完成検査、保安検査等にかかる「高圧ガス費」、銃砲火薬類の取り締まり、電気工事士免状の交付等に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額（円）
高圧ガス費	14,266,472
銃砲火薬類取締費	464,551
電気関係取締費	1,931,123
合計	16,662,146

なお、不用額の主なものは、「高圧ガス費」の実績減などです。

最後に、242 頁、第 4 目「災害救助費」ですが、予算現額 1,616 万 7,000 円に対し、支出済額 1,611 万 2,194 円、不用額 5 万 4,806 円であり、これは、災害救助基金の積立等に要した経費です。

なお、不用額は、「災害救助事業費」の実績減です。

以上をもちまして、防災対策部関係の令和 4 年度歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

何とぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。